

うめぐみだより

～ わくわく発表会特集号 ～

平成29年12月7日
中央区立久松幼稚園
うめ組担任 阿部 真秀
保育補助員 齋藤 舞

今週末は、いよいよわくわく発表会です。子どもたちは、「あと〇回寝たらわくわく発表会だね！」と話したり、カレンダーを見たりしながら、当日を楽しみにしている姿が見られます。

うめ組は、『どうぶつたちのたからもの』の劇遊びをします。

お話ができるまで…

表現遊びをしたり、絵本を見たりする時間が好きなうめ組の子どもたち。その中で、みんなが好きなこと・ものがたくさん詰まったお話ができないかな？と考えてお話づくりが始まりました。

子どもたちが大好きな絵本『ぼんたのじどうはんばいき』を読んだ時、「好きなものが出てくるものがあたらたのしいね」「最後にお友だちになれるのがうれしいね」という声があがり、普段の遊びの中で楽しんでいる動物のなりきり遊びと絵本のイメージが合わさって、うめ組オリジナルのお話『どうぶつたちのたからもの』が出来上がりました。

動物になりきることを楽しんだり、劇遊びを繰り返していく中で、子どもたちが楽しんでいる動きや、子どもたちが考えた振り付けも加わっていき、世界に一つだけの素敵なお話になりました！

お話を進めながら『どうぶつたちのたからもの』の劇遊びを楽しむ中で、「たからばこの中身を作りたい！」「さるは長いしっぽがあるよね」「どうぶつのお面があるといいいな」という声も出てくるようになりました。お話がもっと楽しいものになるようにと、自分たちで考えた動物のお面やしっぽ、宝箱の中身を作りました。お面は教師が用意した土台に、自分で切った顔のパーツを貼り付けて思い思いの動物に仕上げました！目や耳は2枚の紙を重ねて切ると同じ形が2つできることを驚きながらも楽しんで作っていました。

細部までこだわって作ったお面にもご注目ください♪



たからぼこ作り

「絵の具で塗ったよ」

「おもしろいな」



食べ物作り

「大好きだからたくさん作ろう」



お面作り

「どんな顔にしようかな」

役が決まるまで…

表現遊びを楽しむ中、最初は自分の好きな動物に変身することを楽しんでいた子どもたちですが、それぞれの動物ならではの動きの楽しさを感じるようになると、他の動物にも興味をもようになり、ほとんどの子どもたちが全ての動物を経験しました！

繰り返し劇遊びを楽しんでいく中で、なりきって動くことの楽しさ、同じ役の友だちと同じ動きをする楽しさを感じている子どもたちの姿が見られました。今回のわくわく発表会の取り組みを通して、“自分なりに表現する喜び”や“みんなで一緒にすると楽しい！一緒だから楽しい！”という気持ちを感じて欲しいと願っています。